



県内版

「習ってない漢字」
 (米大統領とイバンカさん
 来日の報道を見ながら)
 子「こわいしりりより
 にしたたい」って。
 (テレビ画面のテロップは「習ってない漢字」)

「懐石料理に舌鼓」でした。
 さの・まこと(9歳)＝豊
 川市、母・佐野勇気
 (ツボ)
 (大人が600坪の土地に
 ついて話していました)

子 6000つぼって壺が何
 個あるのかなの？
 はった・れいな(7歳)＝
 天白区、父・八田善幸
 (素材)
 孫 おばあちゃんの家、木
 孫 ぶんちゃんは何で
 できてるの
 (少し考えて)お楽しみ
 やまかわ・ぶんた(4歳)
 孫 ぶんちゃんは何で
 できてるの

ヘルプマーク普及啓発へ

知事「できる限り早く導入」

県議会の定例会は6日、一般質問があり、原欣伸、鈴木雅博、新海正春、石塚吾歩路(自民)浅井由崇、鳴海康裕(民進)岡明彦(公明)の七人が登壇した。県は、障害や病気に援助や配慮を求め「ヘルプマーク」を早急に導入する方針を明らかにした。

(中村禎一郎、谷悠己)



ヘルプマークは、人印。赤い下地に、白色で十字とハートマークが描かれている。電車やバスなどで優先席を



県議会を傍聴する小崎さん。かばんにヘルプマークを取り付けられている。県議会議事堂で

自民の鈴木さんの質問に対し、大村秀章知事は、ヘルプマークは援助を必要としている人々が周囲から援助を受けやすくなる有効な手段と説明し、「市町村と連携してできる限り早く導入したい」と答弁した。

東京都で始まり、東

海地方では岐阜県が導入している。県も七月から周知を図っている。今後は市町村が作成、配布し、県が普及、啓発する形を検討している。

傍聴席には「ヘルプマーク普及活動の会」の共同代表、小崎麻莉絵さん(三)三重県四日市市IIの姿があった。自身も、移植しか治療法がない骨髄の病

医師ら80人参加
 再生医療研究会
 名古屋で開催
 医師や研究者が再生医療について情報交換する「JAPSAM PPRP幹細胞研究会」が名古屋市中村区であり、約八十人が参加し

気を抱えている。かばんに取り付けたヘルプマークの裏には「席を譲りませんが、ご理解ください」との文字が入っている。知事の答弁を聞き、小崎さんは「健康な人が手を差し伸べやすい環境づくりのため、特に交通機関内の普及を望みたい」と話した。

民進の浅井さんは、外国人駐在員の子どもらに通う「インターナショナルスクール」の拡充方針をたたじた。県内には、私立の名古屋国際学園(名古屋守山区)一校しかない、在籍者が定員を上回っている。県は「あいち国際戦略プラン」で「拡充の検討」を掲げている。

松井圭介・政策企画局長は「経済界や市町村と連携し、他県の例

も参考にしながら充実に向けてさらに研究したい」と答えた。

公明の岡さんは、県が文化芸術振興を目的に制定を目指す条例の内容をたたじた。

鳥居保博・県民生活部部長は文化芸術活動の支援と、その担い手育成、関連分野との連携などを条例に盛り込むとし、「数値目標を設定し、毎年度、事業成果の評価、検証を行うなど、実効性を高める仕組みも検討していく」と述べた。

同様の国際戦略総合特区は、東京都のアジアヘッドクォーター特区や北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区など全国に七つある。大村秀章知事は「今後も、MRJ(三菱リージョナルジェット)の量産開始やボーイング787、ボーイング777Xの生産拡大が予定される。さらなる企業集積や生産機能の拡大強化を図る」とコメントした。

「A型」のウイルスが検出されている。

定点医療機関当たり患者報告数が「1」を超え、「1・75」となった。「10」を超えれば注意報、「30」を超えれば警報を発令する。

一〇一六年度は第四十六週に流行入りし、十一月三十日に注意報、一月十一日警報。

インフル
 流行入り
 県発表「A型検出」
 県は、今年第四十八週(十一月二十七日、十二月三日)にインフルエンザが流行入りしたと発表した。今季は